

五月八日から

朝市が始まります

—毎週日曜日午前六時から—

今年の朝市は、五月八日から毎週日曜日市役所前広場で開きます。

この朝市は、転作によって収穫した新鮮な野菜類を消費者の方に販売することをねらいとして開くものです。初日の五月八日は、野菜の苗物を中心に取り扱います。

開設時間は午前六時から午前七時までと定められていますので、販売者も購買者も時間を必ず守るようにして下さい。



▲昨年の朝市

古い写真がありませんか!!

つりと風俗」のテーマでした。現在、市企画課において、五十九年版のカレンダー製作事務を進めておりますが、今年度のテーマを「都留のいまとむかし」と題し昔の写真と現

☎(三)一一一内線二二三四

皆さんの家庭にも残っている古い写真がありましたら、企画課広報係へご連絡をお願いします。

市では、三年前から「ふるさとカレンダー」を作製しております。五十六年版は「文化財」・五十七年版は「四季の風景」・五十八年版は「ま

在の写真を比べ、昔をなつかしみ、現在を見つめ直そうと考えております。

そこで、市民の皆さんのご協力をお願いしたい訳ですが

子供まつりで楽しい一日を!!

▶ 5月23日(日)午前9時から
▶ 都留文科大学キャンパス

地域の子どもの生活の確かな取り組みとして全国各地で行われている運動です。本市においても、昭和四十五年にわずか五十名程の子どもたちを集め、学生によって始められました。そして昨年は、晴天にめぐまれ、一三〇〇名程の子どもたちが集まり楽しい一日を過ごしました。つる子どもまつりも、今年で第十四回をむかえ、現在、実行委員会では、父母・教師学生が一体となって、当日に

むけて活動しています。今年には特に地域の人々によりいっそう子どもまつりを理解していただき、地域主体の子どもまつりとなるよう、地域の人の実行委員会への多数の参加を訴えています。つる子どもまつりを通じて都留市の教育・文化環境が向上するよう、地域住民の手で子どもまつりを創りあげていきましょう。

第十四回つる子どもまつり
実行委員会

都留文科大学

入学式

桜の花が開きはじめた四月十一日、都留文科大学で昭和五十八年度の入学式が行われ

昭和58年度都留文科大学入学式



今年の入学生は、英文、国文、初等教育の三学科と特別編入生を合せて六三〇名。みな厳しい受験競争の難関を突破してきただけに、希望にあふれ、明るい表情で式に臨みました。入学認証の授与につづいて、大田学長から「新入生を迎えることば」がありました。大田学長はこの中で、市民大学としての都留文科大学の役割について触れ、各々学生が自己の専攻した学問の探究を行い、並びに地域社会づくりの輪に積極的に介入することが人間改革を図る上に必要であることを強調しました。